

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	荒沢自然館管理事業		施設設置年度	平成9年度
総合計画での位置づけ	I 人と自然が共生する持続可能なまち 1 自然環境の保全と活用 (4) 森林空間活用の推進		事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他 ソフト/ハード <input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
予算科目	6款 農林水産業費 2項 林業費 6目 林業施設費		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町字鹿原田谷地1番地2	面積	延床 415.70㎡ 敷地 1,700㎡
構造および施設内容	鉄筋コンクリート造(1階) 研修所406.10㎡ 物置9.60㎡		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町荒沢自然館条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

森林の機能と役割について理解を深め、心身の健全な発達と自然に親しめる施設として、来訪客も多く、観光施設の一助となっている。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

事務事業に要した経費	平成29年度実績		平成30年度実績		令和元年度(予算)	
	報酬・賃金	2,025	報酬	2,159	報酬	2,191
A	需用費	626	需用費	751	需用費	723
	役務費	111	役務費	107	役務費	144
	委託料	470	委託料	471	委託料	525
	使用料及び賃借料	58	使用料及び賃借料	58	使用料及び賃借料	127
	工事請負費等	5,158	工事請負費等	7,363	工事請負費等	
	原材料費		原材料費		原材料費	50
職員人件費 ※ B	0.05人	285	0.05人	285	0.05人	285
事業費合計 A+B	8,733		11,194		4,045	
うち一般財源	8,733		11,194		4,045	

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか 木工施設の利用による使用料を徴収している。来館者の安全・快適な利用のため、施設の修繕等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか 木に親しむ空間として、利用者の拡充を図る。
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標) 入館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標) 研修室等使用料収入など
平成29年度実績 401人 平成30年度実績 523人 令和元年度目標 500人	平成29年度実績 51,900円 平成30年度実績 30,650円 令和元年度目標 50,000円

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	荒沢自然館条例に則り、適正に実施されている事業である。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	森林の機能と役割について理解を深め、心身の健全な発達に寄与している。
効率性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	町内にはほかの自然と触れ合える施設が点在するが、観光拠点として考えた場合、利便性の問題から、統合を含めた再編成は考えられない。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	現在も最低限での経費で運営しており、これ以上のコスト削減は難しい。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	この施設の素晴らしさをもっと多くの人にPRし、利用者の拡大を図る。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	加美町中新田保育所 施設管理		施設設置年度	平成17年度
総合計画での 位置づけ	第2節 健やかで笑顔あふれるまち	事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	5. 子育て支援の充実		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
	(2) 就学前の教育・保育の総合的な推進		ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
予算科目	3款 民生費 2項 児童福祉費 5目 保育所費		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字雁原27番地5	面積	延床 2,105㎡	敷地 12,000㎡
構造および 施設内容	鉄筋コンクリート造 平屋建			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	児童福祉法、加美町保育所条例	

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

平成17年に中新田地区3カ所の保育所を統合して現在の中新田保育所として開所。その後10年以上経過し、徐々に不具合箇所が出てきている。入所児童数は定員を超えていることが多いことから、適切な維持管理が求められている。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	1年度(予算)
事務事業に要した経費	需用費 16,006	需用費 15,008	需用費 15,007
A	役務費 868	役務費 608	役務費 609
	委託料 3,239	委託料 3,542	委託料 1,766
	使用料及び賃借料 1,747	使用料及び賃借料 1,266	使用料及び賃借料 1,268
	備品購入費 1,188	備品購入費 87	備品購入費 799
職員人件費 ※ B	2,280	2,280	2,280
事業費合計 A+B	25,328	22,791	21,729
うち一般財源			

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
保育所の機能を果たすために、点検、修繕を行っている。	既存の建物を長期的に利用していく。				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
建物及び施設設備等の保守点検	施設不具合件数(修繕)				
29年度実績	30年度実績	1年度目標	29年度実績	30年度実績	1年度目標
8	8	8	17	13	10

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	保育所の施設として必要。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	保育所の施設として長期間利用できる。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
効率性 評価	説明	施設の点検、修繕を計画的に行うことで、長期間の利用(施設の長寿命化)を可能にできる。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
一次 評価	説明	公立の保育所は、他にはない。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
一次 評価	説明	光熱水費について、昨年度途中から新電力会社(かみでん里山公社)との契約を行い削減に努めている。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	施設が老朽化する前に、計画的に改修や修繕を行うことで、施設の長寿命化を図ることが可能。

1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	中新田児童館運営事業		030206-5
総合計画での 位置づけ	第2節 健やかで笑顔あふれるまち 5 子育て支援の充実 (3)地域の子育て支援の充実(児童健全育成-放課後児童健全育成事業)	施設設置年度	平成8年度
		事業の対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
		独 自/義 務	<input type="checkbox"/> 独自 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	3款 民生費 2項 児童福祉費 6目 児童福祉施設費	ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
		財 源	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	宮城県加美郡加美町字大門176	面積	総面積1,758.01㎡、建物696.32㎡、屋外500.00、その他561.69㎡
構造および 施設内容	木造平屋建一部鉄骨造/遊戯室210.60㎡、創作室97.20㎡、体験コーナー22.68㎡、事務室32.40㎡、その他334.44㎡		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	児童館事業実施要綱、放課後児童健全育成事業

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

児童館は、健全な遊びを通して児童の集団及び個別指導、その他地域の児童の健全な育成を推進する目的で設置されました。また、放課後児童クラブの実施場所としての役割を果たし、放課後や学校休業日の児童の安全な居場所づくりとして、共働き世帯の子育て支援事業に貢献してきました。地域の児童館として保護者から健全育成施設として信頼と期待が高まっています。一方、特別な支援や声掛けを必要とする児童がここ数年多くみられ、その対応や関係機関との連携、協力体制が必要となってきています。運営マニュアルの整備が必要と考えます。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	31年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 1,411	需用費 903	需用費 1,145
	役務費 358	役務費 536	役務費 419
	委託料 1,733	委託料 1,721	委託料 1,780
	使用料 128	使用料 149	使用料 155
	備品購入費 106	備品購入費 145	備品購入費 34
職員人件費 ※ B	5,700千円×2人 = 11,400	5,700千円×2人 = 11,400	5,700千円×2人 = 11,400
事業費合計 A+B	15,136	14,854	14,933
うち一般財源	15,136	14,854	14,933

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
就労している家庭の児童に対し、放課後や学校休業日に安全安心な居場所づくりとして、児童館事業・放課後児童クラブ事業を実施した。	児童を対象に、遊びやイベントを通じて、心身の健全育成を図ると同時に、就労家庭への子育て支援に貢献				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
児童館・放課後児童クラブ事業を通年で開設し、遊びやイベントを通じて生活指導等を行った。活動指標は、放課後児童クラブ登録児童数、開設日数	児童館(自由来館)・放課後児童クラブ延利用者数				
29年度実績	30年度実績	令和元年度目標	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標
児童数223人 日数292日	児童数237人 日数291日	児童数219人 日数291日	27,165 人	30,480 人	30,600 人

6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	次世代を担う子どもの健全育成の場として重要であるとともに、保護者の就労等による放課後の子どもの居場所づくりとしての役割は大きい。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	保護者にとっては安心して就労できるため子育て支援としての貢献度は大きい。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
効率性 評価	説明	遊びを通して個々の子どもたちの自主性を尊重して、協調性や友達同士の連帯感を高めて、児童の健全なる育成に貢献できる。また、保護者の就労等により昼間家庭にいない児童を対象に授業の終了後及び学校の休みの日に、子どもが安心して過ごせる生活の場の提供することにより、保護者は安心して就労する事が出来るため、就労家庭における子育て支援となる。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
一次 評価	説明	地域によって「放課後子ども教室事業」または、外部に委託しての学童保育を実施している。核となる担当部局が、児童館・児童クラブ事業実施にあたって、児童館事業及び放課後児童クラブ事業、町としてそれぞれの運営方法等統一したガイドラインを明確にすることにより、基本的な運営方法の一本化はできると思われま。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input checked="" type="checkbox"/> その他
一次 評価	説明	指定管理者制度による民間委託することでコスト削減が図られると思うが、コスト削減よりも安全で質の高い児童の健全育成に重点を置くべきである。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他(一元集中管理方式にする)
	説明	昨年改定された、児童館ガイドラインに基づいた運営の適正化が早急に必要な状況であり、児童館としての役割と放課後児童クラブの位置付けや役割を明確にし、運営方針や安全管理等を見直すと共に、それに対応できる専門知識と経験を積んだ指導員の安定確保が、安全な子どもの居場所作りと就業等により子どもを放課後児童クラブに預けざるを得ない家庭の支援に繋がると思われます。

1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	みなみ児童館(勤労者福祉研修センター)運営事業		030206-5
総合計画での 位置づけ	第2節 健やかで笑顔あふれるまち 5 子育て支援の充実 (3)地域の子育て支援の充実(児童健全育成-放課後児童健全育成事業)	施設設置年度	平成10年度
		事業の対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
		独 自/義 務	<input type="checkbox"/> 独自 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	3款 民生費 2項 児童福祉費 6目 児童福祉施設費	ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
		財 源	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	宮城県加美郡加美町字百目木一番38-4	面積	延床 496.66㎡ 敷地 997.43㎡
構造および 施設内容	木造二階建一部鉄骨造/大会議室(軽運動場)164.38㎡(児童館占有部分)		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	児童館事業実施要綱、放課後児童健全育成事業

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

自由来館として中学生の勉強の場や乳幼児、未就学児をもつ母親の子育て支援の場として機能を果たしている。一方、地域の各種団体や社会教育団体、サークル団体の会議等の利用施設として定着しており、地域住民のコミュニケーションの場ともなっている。しかし、きた放課後児童クラブが飽和状態であることから、今後は放課後児童クラブとしての機能を充実させる必要があると思われる。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費	需用費 1,068	需用費 1,200	需用費 1,100
A	役務費 89	役務費 90	役務費 240
	委託料 627	委託料 543	委託料 569
	使用料 72	使用料 72	使用料 72
	備品購入費 56		備品購入費 34
職員人件費 ※ B	(兼務)5,700千円×2人=	(兼務)5,700千円×2人=	(兼務)5,700千円×2人=
事業費合計 A+B	1,912	1,905	2,015
うち一般財源	1,912	1,905	2,015

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
児童の健全育成と健康、体力の増進に努めた。また、自由来館として中学生の勉強の場や、乳幼児と母親の子育て支援の場として、施設の提供を図った。	児童の健全育成と健康、体力の増進及び、子どもにとって安全な居場所の提供				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
児童館事業を通年で開設し、遊びやイベントを通じて生活指導等を行った。活動指標は、開館日数及び自由来館者数	自由来館延利用者数				
29年度実績	30年度実績	令和元年度目標	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標
290 日	288 日	287 日	1,211 人	1,156 人	1,200 人

6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	次世代を担う子どもに健全な遊び場を提供し、その健康を増進するとともに、情操を豊かにすることを目的に事業の役割は大きい。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	子どもが安心して放課後や休日を過ごすことが出来る児童館の存在価値は非常に大きい。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
効率性 評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	地域によって「放課後子ども教室事業」または、外部に委託しての学童保育を実施している。核となる担当部局が、児童館・児童クラブ事業実施にあたって、児童館事業及び放課後児童クラブ事業、町としてそれぞれの運営方法等統一したガイドラインを明確にすることにより、基本的な運営方法の一本化はできると思われます。
一次 評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input checked="" type="checkbox"/> その他
	説明	指定管理者制度による民間委託することでコスト削減が図られると思うが、コスト削減よりも安全で質の高い児童の健全育成に重点を置くべきである。
一次 評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他(一元集中管理方式にする)
説明	放課後や長期休暇等、子どもが安全に安心して過ごすことが出来るな居場所の提供として、その役割は大きい一方同学区内で開設している「きた放課後児童クラブ」の利用者が急増し飽和状態になっていることから、今後は放課後児童クラブ事業の充実は図ることが早急に迫られている現状と思われます。	



1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	鳴瀬児童館運営事業		施設設置年度	030206-5 昭和51年度(鳴瀬公民館)	
総合計画での位置づけ	第2節 健やかで笑顔あふれるまち 5 子育て支援の充実 (3)地域の子育て支援の充実(児童健全育成-放課後児童健全育成事業)	事業分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他	
			独自/義務	<input type="checkbox"/> 独自 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他	
予算科目	3款 民生費 2項 児童福祉費 6目 児童福祉施設費		ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	
			財源	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国県等補助	

1-2 施設情報

所在地	宮城県加美郡加美町四日市場字船橋243	面積	延床 537.01㎡	敷地 2465.1㎡
構造および施設内容	軽運動場140㎡(児童館占有部分)			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )		設置条例等	児童館事業実施要綱、放課後児童健全育成事業

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

児童館は、健全な遊びを通して児童の集団及び個別指導、その他地域の児童の健全な育成を推進する目的で設置されました。また、放課後児童クラブの実施場所としての役割を果たし、放課後や学校休業日の児童の安全な居場所づくりとして、共働き世帯の子育て支援事業に貢献してきました。地域の児童館として保護者から健全育成施設として信頼と期待が高まっています。一方、特別な支援や声掛けを必要とする児童がここ数年多くみられ、その対応や関係機関との連携、協力体制が必要となってきています。また「こどもまつ」をはじめとする各種事業の内容の充実を考慮していかなければならないと考える。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 128	需用費 162	需用費 213
	役務費 170	役務費 170	役務費 165
	使用料 1	使用料 2	使用料 3
	備品購入費 73		備品購入費 34
職員人件費 ※ B	(兼務)5,700千円×2人=	(兼務)5,700千円×2人=	(兼務)5,700千円×2人=
事業費合計 A+B	372	334	415
うち一般財源	372	334	415

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
就労している家庭の児童に対し、放課後や学校休業日に安全安心な居場所づくりとして、児童館事業・放課後児童クラブ事業を実施した。	児童を対象に、遊びやイベントを通じて、心身の健全育成を図ると同時に、就労家庭への子育て支援に貢献				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
児童館・放課後児童クラブ事業を通年で開設し、遊びやイベントを通じて生活指導等を行った。活動指標は、放課後児童クラブ登録児童数、開設日数	児童館(自由来館)・放課後児童クラブ延利用者数				
29年度実績	30年度実績	令和元年度目標	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標
児童数92人 日数241日	児童数89人 日数288日	児童数85人 日数287日	12,649人	14,037人	14,388人

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	次世代を担う子どもの健全育成の場として重要であるとともに、自由来館や未就学児をもつ母親の子育て支援の場としての役割は大きい。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	保護者にとっては安心して就労できるため子育て支援としての貢献度は大きい。
有効性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
効率性評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	地域によって「放課後子ども教室事業」または、外部に委託しての学童保育を実施している。核となる担当部局が、児童館・児童クラブ事業実施にあたって、児童館事業及び放課後児童クラブ事業、町としてそれぞれの運営方法等統一したガイドラインを明確にすることにより、基本的な運営方法の一本化はできる。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	指定管理者制度による民間委託することで人権費2名相当のコスト削減が図られる一方、ガイドラインに基づいた人員の配置ができる。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他(一元集中管理方式にする)
説明	地域の特性及び利用状況から判断した場合、児童館としての需要はほぼないが、放課後児童クラブ事業は必要不可欠な状況であると思われる。放課後児童クラブに重点を置いた場合、指定管理に移行した方がガイドラインに沿った安定した人材の確保が出来、子どもにとって安全な居場所を提供出来ると思われる。	

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	広原児童館(研修センター)運営事業		030206-5
総合計画での位置づけ	第2節 健やかで笑顔あふれるまち 5 子育て支援の充実 (3)地域の子育て支援の充実(児童健全育成-放課後児童健全育成事業)	施設設置年度	平成4年度
		事業の対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
		独 自 / 義 務	<input type="checkbox"/> 独自 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	3款 民生費 2項 児童福祉費 6目 児童福祉施設費	ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
		財 源	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	宮城県加美郡加美町上狼塚字東北原12-1	面積	延床 375.393㎡ 敷地 9706.05㎡
構造および施設内容	木造1階/第1研修室(軽運動場)128.383㎡ 第3研修室40.577㎡ 談話コーナー54.090㎡		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	児童館事業実施要綱、放課後児童健全育成事業

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

児童館は、健全な遊びを通して児童の集団及び個別指導、その他地域の児童の健全な育成を推進する目的で設置されました。また、放課後児童クラブの実施場所としての役割を果たし、放課後や学校休業日の児童の安全な居場所づくりとして、共働き世帯の子育て支援事業に貢献してきました。地域の児童館として保護者から健全育成施設として信頼と期待が高まっています。一方、特別な支援や声掛けを必要とする児童がここ数年多くみられ、その対応や関係機関との連携、協力体制が必要となってきています。また「こどもまつ」をはじめとする各種事業の内容の充実を考慮していかなければならないと考えます。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×○人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 492	需用費 562	需用費 586
	役務費 203	役務費 216	役務費 185
	委託料 679	委託料 663	委託料 738
	使用料 28	使用料 39	使用料 43
	備品購入費 84		備品購入費 34
職員人件費 ※ B	(兼務)5,700千円×2人=	(兼務)5,700千円×2人=	(兼務)5,700千円×2人=
事業費合計 A+B	1,486	1,480	1,586
うち一般財源	1,486	1,480	1,586

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
就労している家庭の児童に対し、放課後や学校休業日に安全安心な居場所づくりとして、児童館事業・放課後児童クラブ事業を実施した。	児童を対象に、遊びやイベントを通じて、心身の健全育成を図ると同時に、就労家庭への子育て支援に貢献				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
児童館・放課後児童クラブ事業を通年で開設し、遊びやイベントを通じて生活指導等を行った。活動指標は、放課後児童クラブ登録児童数、開設日数	児童館(自由来館)・放課後児童クラブ延利用者数				
29年度実績	30年度実績	令和元年度目標	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標
児童数96人 日数290日	児童数86人 日数288日	児童数80人 日数287日	10,368 人	9,919 人	10,995 人

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	次世代を担う子どもの健全育成の場として重要であるとともに、保護者の就労等による放課後の子どもの居場所づくりとしての役割は大きい。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	保護者にとっては安心して就労できるため子育て支援としての貢献度は大きい。
効率性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	地域によって「放課後子ども教室事業」または、外部に委託しての学童保育を実施している。核となる担当部局が、児童館・児童クラブ事業実施にあたって、児童館事業及び放課後児童クラブ事業、町としてそれぞれの運営方法等統一したガイドラインを明確にすることにより、基本的な運営方法の一本化はできると考えられます。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input checked="" type="checkbox"/> その他
	説明	指定管理者制度による民間委託することでコスト削減が図られると思うが、コスト削減よりも安全で質の高い児童の健全育成に重点を置くべきである。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他(一元集中管理方式にする)
一次評価	説明	昨年改定された、児童館ガイドラインに基づいた運営の適正化が早急に必要な状況であり、児童館としての役割と放課後児童クラブの位置付けや役割を明確にし、運営方針や安全管理等を見直すと共に、それに対応できる専門知識と経験を積んだ指導員の安定確保が、安全な子どもの居場所作りに必要となります。また、隣に団地が出来たことにより自由来館が増加していることから、今後は児童館事業の充実化が必要となってきます。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	センター管理—施設管理運営事務		施設設置年度	平成4年度
総合計画での 位置づけ	II 健やかで笑顔あふれるまち 6 地域福祉の充実 (4) 福祉施設の充実		事業の対 象	■住民 □職員(内部管理) □その他
			独自/義 務	■独自 □義務的(法定) □その他
予算科目	3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 社会福祉施設費		ソフト/ハード	□ソフト ■ハード
			財 源	■町単独 □国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字町裏320番地	面積	延床 1393.90 m <sup>2</sup> 敷地 5941.34 m <sup>2</sup>
構造および 施設内容	鉄筋コンクリート(平屋建) 事務室(203m <sup>2</sup> )、機能回復訓練室(112m <sup>2</sup> )、教養娯楽室(37m <sup>2</sup> )、一般入浴室(108m <sup>2</sup> )、デイサービス(405m <sup>2</sup> )、診察室等(468m <sup>2</sup> )		
運営方法	■直営 □指定管理( )	設置条例等	加美町福祉センター福祉条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

施設開設後26年が経過しており、経年劣化による施設整備等の不具合による修繕並びに交換部品の製造終了による新規機器への入れ替えを指導されている。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 10,801	需用費 9,137	需用費 9,716
	役務費 26	役務費 26	役務費 28
	委託料 3,146	委託料 3,393	委託料 3,467
	使用料及び賃借料 53	使用料及び賃借料 53	使用料及び賃借料 54
	工事請負費等 5,710	工事請負費等 232	工事請負費等 248
職員人件費 ※ B	0.5人 2,850	0.5人 2,850	0.5人 2,850
事業費合計 A+B	22,586	15,691	16,363
うち一般財源	18,845	13,182	12,263

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか		
来館者の安全・快適な利用のため、また、施設の良好な維持のため機械設備保守点検や消防設備、保守管理業務、施設内維持管理等を適切に行った。	安全で安心して気持ちよく施設を利用してもらい、町民の健康増進等の向上を図る。		
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)		
集会室利用人数	利用率		
平成29年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
10,098人	9,860人	10,000人	100.00%

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1) 町が実施すべき事業として妥当ですか?	□法定受託事業である ■妥当である □妥当性が低い
	説明	町民の健康づくりの推進、高齢者の健康保持、教養の向上及び福祉の増進を図る場として維持管理はとても重要である。
有効性 評価	(2) 上位施策への貢献度は大きいですか?	□大きい ■ふつう □小さい □総合計画等の位置づけなし
	説明	多くの高齢者の方の憩いの場、相談の場として気軽に支障なく利用できるよう努めている。
有効性 評価	(3) 計画どおりに成果があがっていますか?	□あがっている ■どちらかといえばあがっている □あがっていない
	(4) 成果が向上する余地(可能性)はありますか?	□大いにある ■多少ある □向上の余地なし □すでに成果は十分
効率性 評価	説明	危険箇所、支障箇所等を定期的に点検し、来館者等が安全に利用できるように施設の管理を行っている。
	(5) 類似事業との再編はできませんか?	□再編できる ■類似事業あるが再編はできない □類似の事業はない
一次 評価	説明	町内3地区それぞれ福祉センターを設置している。
	(6) 現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	□できる ■できない □その他
一次 評価	説明	当施設は建設26年を経過しているため、保守管理を適切に実施するためコスト削減はできない
	施設の方向性	■存続 ( ■直営 □指定管理者 □一部業務委託 ) □廃止 □統合 □その他( )
一次 評価	改善の方向性	□目的の再設定 □成果の向上 □コストの削減 □その他( )
	説明	経年劣化に起因する施設設備等の不具合並びに交換・改修等を年次計画を立て計画的に行っていく。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	消防防災施設整備事業(防火水槽)		施設設置年度	令和元年度
総合計画での 位置づけ	第3節 安全・安心で快適に暮らせるまち 1. 消防防災・防災対策の充実 (2) 消防施設整備事業の推進		事業の対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独 自/義 務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
			ソ フト/ハ ード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
予算科目	9款 消防費 1項 消防費 2目 消防施設費		財 源	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地		面積	延床	m <sup>2</sup>	敷地	m <sup>2</sup>
構造および 施設内容						
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )		設置条例等			

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

--

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	工事請負費 7,636	工事請負費 9,364	
	水道加入負担金 33	水道加入負担金 33	予算計上なし
職員人件費 ※ B	0.05人 285	0.05人 285	
事業費合計 A+B	7,954	9,649	
うち一般財源	5,409	43	

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか 毎年、消防署と水利不足箇所の協議を行い設置箇所を定めている。設置後の維持管理として、年5回消防署及び消防団で点検を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか 火災から町民の生命と財産を守り、防災体制の充実が図られる。				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標) 毎年1基設置していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標) 迅速な初期消火体制及び消火活動を行う。				
平成29年度実績 1基	平成30年度実績 1基	令和元年度目標 0基	平成29年度実績 100.00%	平成30年度実績 100.00%	令和元年度目標

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか？	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	水利不足の地域に防火水槽を設置することにより、住民が安心して安全に生活できる環境整備が図られる。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	消火活動時に迅速な消火活動を行うため、防火水槽の役割は非常に大きい。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次 評価	(5)類似事業との再編はできませんか？	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	
一次 評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか？	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	防火水槽の設置により、迅速な消火活動を行うことで、類焼防止にも繋がり、安全を高める。
一次 評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	説明	



## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	熊野霊園管理事業		施設設置年度	S53～
総合計画での 位置づけ		事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独自/義務	<input type="checkbox"/> 独自 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	霊園事業特別会計 1款 霊園費 1項 霊園管理費 1目 霊園管理費		ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
			財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町下多田川字熊野1番地2	面積	延床	m <sup>2</sup>	敷地	7,432.911 m <sup>2</sup>
構造および 施設内容	公共福祉に寄与するため、焼骨を埋葬し墳墓の用に供する霊園。					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )		設置条例等	加美町熊野霊園条例		

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

墓地利用者の安全、利便性に配慮した霊園の適正な維持管理を行い、利用促進を図ることを目的としている。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 28	需用費 172	需用費 254
	委託料 1,800	委託料 1,541	委託料 1,490
職員人件費 ※ B			
事業費合計 A+B	1,828	1,713	1,744
うち一般財源	1,828	1,713	1,744

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
利用者へ許可証を交付し、昭和53年度造成分1区画12万円(町外利用者18万円)、平成26年度造成分1区画24万円(町外利用者36万円)の使用料を徴収している。また、年間3千円の清掃手数料を徴収し、霊園内の環境美化等の施設管理業務を行っている。	利用者の安全・利便性に配慮した霊園の適正な維持管理を行っていくとともに、墓地利用者の拡充を図る。				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
新規利用許可	清掃手数料収入				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
許可 13件	許可 8件	許可 4件	1,083,200円	1,092,750円	1,107,000円

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	墓地埋葬法、加美町熊野霊園条例により適切に執行されている。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	平成30年度は8区画の利用申し込みがあり、一定の成果はあったと思われる。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次 評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	
一次 評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	
一次 評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	説明	墓地返還が毎年数件あるおかげで、新たな利用希望者に対し墓地の提供ができていますが、核家族化が進んでいることから第2期造成工事が必要である。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	加美町農林産物直売施設管理事業		施設設置年度	平成6年度	
総合計画での 位置づけ	第4節 魅力・やりがいでにぎわいのあるまち 1 地場産業の振興 (4) 地域産業支援施設の整備、運営		事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	4款 農林水産業費 1項 農業費 9目 農業施設費			独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	6款 農林水産業費 1項 農業費 9目 農業施設費		ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード	
			財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助	

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字味ヶ袋葉菜原1番地67・68	面積	延床 874㎡	敷地	㎡
構造および 施設内容	土産センター 518㎡ 山の幸センター 356㎡				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理(農事組合法人やぐらひ土産センターさんちゃん会)		設置条例等	加美町農林産物直売施設条例	

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

平成23年3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故による農畜産物への放射性物質の影響は甚大で、被災前の生産量まで回復しつつある農産物がある半面、生産再開の目途が立たない作物もある。また、食品の放射性物質基準値500Bq/kg以下が平成24年4月1日から100Bq/kg以下に変更されたことに伴い、消費者の食品に対する安全・安心の関心は非常に高く、品質も含め消費者ニーズにかなわなかった生産・供給体制への転換が求められている。安全な産地直売所、都市消費者との交流拠点として、地域活性化を担う施設と位置付けられている。

## 3 投入指標(インプット)

(\*職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 221	需用費 545	需用費 716
	工事請負費 357		工事請負費 760
			備品購入費 7,124
職員人件費 ※ B	0.1×1人 570	0.1×1人 570	0.1×1人 570
事業費合計 A+B	1,148	1,115	9,170
うち一般財源	1,148	1,115	9,170

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
指定管理者基本協定に基づく施設の管理運営補助	地域農林産物等の効率的販売による利益の増進と交流拡大				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
	施設売上				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
			224,243,039円	221,352,708円	240,000,000円

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	加美町農林産物直売施設条例及び指定管理者制度に伴う基本協定に則り、行われる施設管理事業として適切に執行されている。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	町内農林産物の販売・PRとともに農業者の生産意欲向上を進める施設として大きな役割を果たしている。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次 評価	説明	施設を運営するさんちゃん会の会員数は200名前後で推移しているとともに、農林産物等販売額も2億円を超えており、すでに成果は十分である。今後は現状の規模・売上を維持しつつ、さんちゃん会内の後継者対策に取り組んでいく必要がある。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
一次 評価	説明	類似の事業はない。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input checked="" type="checkbox"/> その他
一次 評価	説明	施設の老朽化による修繕費等の維持管理経費が年々増加してきており、ある程度のコスト増加は必要となる。但し、指定管理者との連携による費用負担でコスト増加を抑制していくことは可能である。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	指定管理者との連携により、今後も安定した施設の管理・運営が期待できる。

## R1 事務事業評価シート

## 施設管理運営

担当者(所属・職・氏名)

農林課 農業振興係 主事 青砥沙織

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	地域特産生産施設管理事業			施設設置年度	平成元年度	
総合計画での 位置づけ	第4節 魅力あふれ、豊かでにぎわいのあるまち 1 地場産業の振興 (4) 地域産業支援施設の整備、運営			事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	予算科目				6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費	独自/義務
					ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
					財 源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町上多田川字岩滝48番地10	面積	延床 3,416㎡ 敷地 9,646㎡(借地)
構造および 施設内容	・培養棟 鉄骨平屋建 3,178.51㎡ ・播出棟 鉄骨平屋建 237.89㎡		
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理(中新田茸培養組合)	設置条例等	加美町地域特産生産施設条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

H23. 3. 11の東京電力福島第一原子力発電所事故による農畜産物への放射性物質の影響は甚大で、被災前の生産量まで回復しつつある農産物がある半面、生産再開の目途が立たない作物もある。また、食品の放射性物質基準値500Bq/Kg以下がH24. 4. 1から100Bq/Kg以下に変更されたことに伴い、消費者の食品に対する安全・安心の関心は非常に高く、品質も含め市場対応の商品性の高い生産物の生産が求められている。
--

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	土地借上料 250	土地借上料 250	土地借上料 250
職員人件費 ※ B	0.01×1人 57	0.01×1人 57	0.01×1人 57
事業費合計 A+B	307	307	307
うち一般財源	307	307	307

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか			■この事業によって対象をどうしたいのか		
施設管理運営補助			茸培養の協同生産、施設の高度利用と技術精度の高度化		
■何をどれだけ行ったか(活動指標)			■達成度を表す指標(成果指標)		
			えのき茸、はたけしめじ等菌床の供給本数		
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
			3,992,272本18,794個	3,934,488本22,518個	4,026,400本28,000個

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	高生産性水田農業確立農業構造改善モデル事業により整備された施設の維持管理であるため妥当である。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	地場産業の振興に貢献している。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次 評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	類似の事業はない。
一次 評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	平成28年度より、土地借上料相当額を指定管理者から納付してもらうこととしたので、コスト削減が図られた。
一次 評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	説明	培養物の供給も専属利用契約団体を中心に安定した生産量を維持しているため、引き続き事業継続していくべきである。 なお、当該施設は借地に建設された行政財産であるが、今後も中新田茸培養組合の運営で継続されることが望ましい施設と思われる。現在の主軸品目となっているえのき菌床の他の菌床を培養するスペースを増設するため、成果の向上を図りつつ、コスト削減を行うことで改善の方向性となる。

R1 事務事業評価シート

施設管理運営

担当者(所属・職・氏名)
農林課 農業振興係 主事 青砥沙織

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	農村婦人の家管理運営事業		施設設置年度	昭和61年度
総合計画での位置づけ	第4節 魅力あふれ、豊かでにぎわいのあるまち 1 地場産業の振興 (4)地域産業支援施設の整備、運営		事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
			ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
予算科目	6款 農林水産業費	1項 農業費	9目 農業施設費	財源 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町上狼塚字東北原12番地145	面積	延床 246.64㎡	敷地 537.00㎡
構造および施設内容	集会施設(調理室、ホール含む) 木造 246.64 ㎡			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )		設置条例等	加美町婦人の家条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

加美町農村婦人の家利用グループ連絡協議会の会員が農産物の加工等創作活動を行っている。特に味噌や豆腐づくりを中心に、地域の中で伝えられている技術の掘りおこしと伝承及び交流の場として活用しているが、会員の高齢化や家族の少人数化などにより味噌の消費が減り、会員数も減ってきている。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×○人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需要費 652	需要費 470	需用費 696
	役務費 22	役務費 33	役務費 33
	委託費 353	委託費 396	委託料 386
	工事請負費 4,984		
職員人件費 ※ B	0.2×1人 1,140	0.2×1人 1,140	0.2×1人 1,140
事業費合計 A+B	7,151	2,039	2,255
うち一般財源	6,850	1,847	2,031

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
施設管理、協議会運営補助	自給率向上と地域農業の振興				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
施設利用日数	創作実績				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
93日	73日	80日	味噌 178斗	味噌 149斗	味噌 170斗

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	地場産品を使用した食品加工の共同利用施設、農村婦人及び高齢者の交流の場として公益性がある。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	地場産品等の加工の振興に貢献している。
効率的性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	同様の加工施設は数ヵ所あるが、設置目的(販売・自家消費)が違っているため、再編については難しい。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	施設管理に係る経費以外(光熱水費や燃料費、消耗品など)を使用料で賄うなど、利用グループの自立に向けた活動は可能である。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	利用グループは、ほとんどが自家用味噌の創作に使用している状態で、販売を目的にしていることもあり使用料は低額に留まる。会員数は年々減少してきているとはいえ約90名おり、多くの会員が利用している。施設管理に係る経費以外(光熱水費や燃料費、消耗品など)を使用料で賄うなど、自立に向けた活動は可能と思われるが、現在の利用グループが指定管理者として運営するのは困難とも感じられ、当分の間は直営で管理し後継者育成を図るべきである。



## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	加美町農産物栽培技術習得施設管理事業		施設設置年度	平成7年度
総合計画での 位置づけ	第4節 魅力・やりがいのでぎわいのあるまち	事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	1 地場産業の振興 (4) 地域産業支援施設の整備、運営		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	6款 農林水産業費 1項 農業費 9目 農業施設費		ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
			財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字味ヶ袋葉菜原1番地335・336	面積	延床 3,128㎡ 敷地 7,048.1㎡
構造および 施設内容	温室ハウス(3棟 2,916㎡) 研修棟(1棟 212㎡)		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町葉菜農産研修施設条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

設置当初は、新規就農者の技術習得施設として整備したが、後継者不足等の農業情勢の変化に伴い、現在は花卉生産農業者の技術研鑽、特定非営利組織の都市農村交流及び地場産品(わさび)の加工施設として活用しており、当初の目的とは違う施設の利活用となっている。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 2,072	需用費 2,029	需用費 1,832
	役務費 208	役務費 209	役務費 212
	委託料 533	委託料 533	委託料 568
	工事請負費 1,404	工事請負費 2,052	原材料費 150
	原材料費 106	原材料費 140	
職員人件費 ※ B	0.1×1人 570	0.1×1人 570	0.1×1人 570
事業費合計 A+B	4,893	5,533	3,332
うち一般財源	3,765	4,422	2,145

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
規定に基づき施設の利用許可を行い、施設の維持管理を行っている。	町内農業者等の生産技術の研鑽及び地場産品加工施設としての利用拡充				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
利用日数	利用団体数				
28年度実績	29年度実績	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度目標
366日	365日	365日	5団体	3団体	3団体

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1) 町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	加美町葉菜農産研修施設条例に則り、行われる施設管理事業として適切に執行されている。
有効性 評価	(2) 上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	町内農業者の技術研鑽及び地場産品加工施設として貢献している。
有効性 評価	(3) 計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4) 成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
効率性 評価	説明	施設の利活用としては、全施設が利用されており達成されている。
	(5) 類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
一次 評価	説明	類似の事業はない。
	(6) 現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input checked="" type="checkbox"/> その他
一次 評価	説明	研修棟については補助金適正化法の縛りにより、利用料金等の徴収について制限がある。温室ハウスについては、施設の有効利用と併せ検討が必要となる。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	町内農業者の技術研鑽及び地場産加工施設として利用されていることから、引き続き直営での管理を実施していく。将来的には施設の立地環境も考慮した有効活用を模索し、指定管理者制度等も検討していく必要がある。

R1 事務事業評価シート

施設管理運営

担当者(所属・職・氏名)

農林課・主事・星 大貴

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	加美町農畜産物加工施設管理運営事業		施設設置年度	平成10年度
総合計画での位置づけ	第4節 魅力・やりがいのでぎわいのあるまち 1 地場産業の振興 (4) 地域産業支援施設の整備、運営		事業の対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	予算科目		独 自 / 義 務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
	6款 農林水産業費 1項 農業費 9目 農業施設費		ソフ ト / ハー ド	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
			財 源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町字味ヶ袋葉原1番地337	面積	延床 250㎡ 敷地 1,390.88㎡
構造および施設内容	木造平屋(漬物加工室 3室 ハム・ソーセージ加工室 3室 事務室 1室 休憩室 1室 その他)		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町葉菜農産研修施設条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

加工グループによる漬物類並びにハム、ソーセージ等の加工技術の研鑽施設としての役割を果たす。会員の高齢化・兼業化に伴い、利用日数等は減少傾向で利用体制の再構築が課題となっている。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 1,161	需用費 1,648	需用費 1,348
	役務費 162	役務費 161	役務費 163
	委託料 363	委託料 364	委託料 391
	使用料 15	使用料 15	使用料 16
	備品購入費 171		
職員人件費 ※ B	0.1×1人 570	0.1×1人 570	0.1×1人 570
事業費合計 A+B	2,442	2,758	2,488
うち一般財源	1,652	1,974	1,687

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか 規定に基づき、施設の利用許可を行い、施設の維持管理を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか 加美町食材を活用した加工技術の研鑽及び加工品発信拠点としての利用拡充
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標) 施設利用日数(延べ)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標) 施設利用人数(延べ)
28年度実績 104日 29年度実績 93日 30年度目標 160日	28年度実績 314人 29年度実績 271人 30年度目標 450人

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1) 町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	加美町葉菜農産研修施設条例に則り、行われる施設管理事業として適切に執行されている。
有効性評価	(2) 上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	町内農業者の加工技術の研鑽施設として、また、加美町産加工品の発信拠点として重要な役割を担っている。
効率性評価	(3) 計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	(4) 成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次評価	(5) 類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	同様の加工施設は数カ所あるが、設置目的(販売・自家消費)が違っているため、再編については難しい。
一次評価	(6) 現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	適正な使用料を徴収し運営しているが、施設全体の老朽化が進んでおり、施設を今後も維持するためには多少のコスト増加はやむを得ない。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	農畜産物加工技術の研鑽施設として、また、加美町産加工品の発信拠点として重要な役割を担っており、施設利用日数及び人数を向上させることで地域産業の発展につながる。利用者の高齢化・兼業化及び施設の老朽化を考慮し、当分の間は直営で管理運営すべきであるが、後継者育成と併せ将来的には指定管理者制度の導入も検討する必要がある。

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	町営小野田薬原放牧場			
総合計画での位置づけ	IV 魅力・やりがいのでぎわいのある町	施設設置年度	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	2. 農林水産業の振興		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
	(5) 畜産業の振興		ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
予算科目	6款 農林水産業費 1項 農業費 4目 畜産業費	財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助	

1-2 施設情報

所在地	加美町字鹿原立板上ノ原1番39	面積	延床 350 + 396 + 1,441㎡ 敷地 280000㎡
構造および施設内容	鉄筋コンクリート造(旧牛舎)、木造(新乳用育成舎)、木造(新肉用育成舎)、 看視舎、衛生舎、堆肥舎、作業スペース		
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理(一般社団法人 加美町畜産公社)	設置条例等	加美町営放牧場条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

畜産農家戸数は毎年減少しているものの、飼養頭数は微増している状況にあり、畜産経営の規模拡大・多頭化が進行している。このような状況の中、規模拡大に伴うコスト低減、多頭化による畜舎スペースの不足を解消するため、周年預託施設設置の要望が強く、「和牛の里づくり構想」の実現と連携しながら、再編整備を行った。平成27年7月より、新肉用牛舎の利用が開始され、預託頭数の増加にも対応している。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	31年度(予算)
事務事業に要した経費	指定管理料 1,010	指定管理料 4,247	指定管理料 3,000
A	公共牧場直近飲料水検査手数料 52	公共牧場直近飲料水検査手数料 26	
	乳用牛舎受水槽設置工事 681		
	備品購入 843		
	町営放牧場事業推進委員会謝礼 44		
職員人件費 ※ B	0	0	0
事業費合計 A+B	2,630	4,273	3,000
うち一般財源	2,630	4,273	3,000

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
畜産農家が飼養する未経産牛(育成牛)の預託管理を行い、受胎及び栄養管理を徹底し、繁殖成績の向上に資する。	畜産経営のコスト低減、省力化による農家経済の安定を図る。				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
預託農家数、放牧頭数など	利用農家率(農家戸数の2割)				
29年度実績	30年度実績	31年度目標	29年度実績	30年度実績	31年度目標
52戸 379頭	48戸 397頭	60戸 450頭	乳(13/59)、肉(39/194)	乳(13/58)、肉(35/194)	乳(20/48)、肉(40/193)

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	税金を投入して行う事業としては、対象者が限定されており、公共性は低い。また、放牧場経営は赤字になる可能性が低く、事業運営を受託する団体の利益は少なくなると思われる。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	畜産経営のコスト低減並びに、畜舎スペースの不足解消を図ることにより、畜産経営の安定に貢献し、一次産業の発展及び地域の活性化を促すとともに、放牧場運営による農村景観の醸成、家畜とのふれあいによる情操教育等により、魅力・やりがいのでぎわいのあるまちづくりに貢献している。
有効性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
	説明	「和牛の里づくり構想」を視野に入れた新牛舎が完成し、加美町畜産公社への業務委託が開始された。町外からの施設見学希望者も多く、今後については畜産農家の希望を汲み上げつつ、より利便性の高い公共牧場としての運営が期待される。
有効性評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	加美町に隣接する市町には5放牧場が運営されており、希望すれば町外への預託も可能となっている。しかし利用状況としては薬原放牧場への預託希望者が多く、それに対応した環境の整備が求められる。
効率性評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	指定管理者制度により施設の管理運営を民間に委託することで、サービス(成果)の向上とコストの削減が見込まれる。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	預託者の満足度の向上とコストの削減を図るため、指定管理者制度が導入された。町内畜産農家の預託頭数の拡大と、飼養環境の向上を目指している本事業には、農家の負担を増やすことなく飼養規模を拡大する意味があり、加美町が畜産振興を行う上で重要な役割を果たすと考えられる。

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	加美町土づくりセンター	事業番号	
総合計画での位置づけ	IV 魅力・やりがいのでぎわいのあるまち 2. 農林水産業の振興 (5) 畜産業の振興	施設設置年度	平成7年度
		事業の対 象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
		独 自/義 務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	6款 農林水産業費 1項 農業費 4目 畜産業費	ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
		財 源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町菜切谷字青木原28番地282	面積	延床 4653 + 2418 + 39 + 36 m <sup>2</sup> 敷地 9990 m <sup>2</sup>
構造および施設内容	一次発酵棟、二次発酵棟 + 脱臭棟、管理棟、連絡通路棟、		
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理(一般社団法人 加美町畜産公社)	設置条例等	加美町土づくりセンター条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

畜産農家戸数は毎年減少しているものの、飼養頭数は微増している状況にあり、畜産経営の規模拡大・多頭化が進行している。このような状況の中、家畜排せつ物の処理については、農家戸々に任せられているため周辺住民との軋轢をもたらす原因ともなる。このため処理施設を建設し、安定的かつ効果的に脱臭、堆肥化処理を行う事が求められた。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×○人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	31年度(予算)
事務事業に要した経費 A	施設管理委託料 6,000	施設管理委託料 4,000	施設管理委託料 4,000
	機器保守点検委託料 1,512	機器保守点検委託料 1,512	機器保守点検委託料 972
	施設設備改修工事 1,469	施設設備改修工事 26,676	施設設備改修工事 15,399
職員人件費 ※ B	0.25人×1人 1,425	0.25×1人 1,425	0.25×1人 1,425
事業費合計 A+B	10,406	33,613	21,796
うち一般財源	10,406	33,613	21,796

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
家畜排せつ物を当該センターにて受け入れを行い、臭気対策及び畜産経営のコスト低減や省力化による農家経済の安定を図る。	畜産経営のコスト低減、省力化による農家経済の安定と、家畜排せつ物処理に伴う臭い等を制限して処理することができる。				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
家畜排せつ物処理量	利用農家率(農家戸数の2割)				
29年度実績	30年度実績	31年度目標	29年度実績	30年度実績	31年度目標
3,876トン	3,500トン	4,000トン	乳(10/59)、肉(13/194)、豚(2/3)	乳(10/58)、肉(12/202)、豚(3/3)	乳(10/48)、肉(13/198)、豚(3/3)

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	税金を投入して行う事業としては、対象者が限定されているが、悪臭対策としては一定の公共性がある。なお、製品である完熟堆肥の販売は順調であり、昨年度決算は黒字となった。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	畜産業を営む上での課題の一つである家畜排せつ物の処理という点においては、大きな効果を得ている。また、処理により生産された完熟堆肥の販売も順調であり、廃棄物の処理と製品の生産を両立させていることから、環境問題および基幹産業である一次産業の発展に寄与している。
評価性	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
	説明	平成21年より現施設が稼働しているが、当初の計画段階よりも利用の希望が多いため、家畜排せつ物の受け入れを調整している。また、持ち込まれる家畜排せつ物の水分量により発酵速度が左右されるため、適切な水分量にするため、副資材および一時置き場を活用している。これらのことから、水分量を調整できれば生産性が向上すると思われる。
効果性	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	令和元年8月現在、類似する事業はないため、再編の可能性は低い。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	指定管理者制度により施設の管理運営を民間に委託することで、サービス(成果)の向上とコストの削減が見込まれる。
施設改善	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
説明	効率的な運営とコストの削減を図るため、指定管理者制度が導入されている。畜産農家から発生する家畜排せつ物は周辺の住民にとっても問題となり得るため、安定的かつ効果的に処理を行う必要があった。このことから当該施設の必要性が説かれ、稼働を始めてからも多くの農家が利用している。町内にこうした施設があることは、加美町が畜産振興を行う上で重要な役割を果たすと考えられる。	



R1 事務事業評価シート

施設管理運営

担当者(所属・職・氏名)
農林課 農業振興係 主事 星大貴

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	特産振興対策(わらびもぎとり園管理運営)事業	施設設置年度	平成13年度
総合計画での位置づけ	第4節 魅力あふれ、豊かでにぎわいのあるまち 2 農林水産業の振興 (6) 山菜の里づくりの推進	事業の対象	■住民 □職員(内部管理) □その他
予算科目	6款 農林水産業費 1項 農業費 10目 山村振興対策事業費	独自/義務	■独自 □義務的(法定) □その他
		ソフト/ハード	■ソフト □ハード
		財源	■町単独 □国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町字鹿原上台野1-2地内	面積	延床 m <sup>2</sup>	敷地 100,000m <sup>2</sup>
構造および施設内容	わらびもぎとり園 A=10ha			
運営方法	■直営(施設管理は町、運営業務は葉菜振興公社が実施)		設置条例等	

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

比較的平坦地でのもぎとりができるということで、例年常連の利用客が見込まれている。しかし、放射性物質検出の風評被害と近年のわらびの生育不良のため全体としての利用者数が減少傾向であり、維持管理経費がかさむ状況となっている。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 23	需用費 29	需用費 153
	役務費 0	役務費 0	役務費 12
	委託料 712	委託料 1,264	委託料 776
	使用料及び賃借料 10	使用料及び賃借料 35	使用料及び賃借料 55
	原材料費 66	原材料費 124	原材料費 143
職員人件費 ※ B	0.05×1人 285	0.05×1人 285	0.05×1人 285
事業費合計 A+B	1,096	1,737	1,424
うち一般財源	1,096	1,737	1,424

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか
わらびもぎとり園の施設管理(下刈り、道路整備等)	山菜の里づくりの推進 振興公社との連携による当施設及び観光施設群の利用者増
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)
わらびもぎとり園開園日数	わらびもぎとり園利用者数
平成29年度実績 7日	平成29年度実績 226人
平成30年度実績 6日	平成30年度実績 193人
令和元年度目標 5日	令和元年度目標 150人

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	□法定受託事業である ■妥当である □妥当性が低い
	説明	運営は葉菜施設群と一体となった観光施策の一つとして、創意工夫により行えるよう葉菜振興公社に移行したが、山菜の里づくりの推進に取り組むうえで施設の管理については町で行うことが妥当と考えられる。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	□大きい ■ふつう □小さい □総合計画等の位置づけなし
	説明	山菜の里づくりの推進を掲げて地場産品の魅力を発信できる施設として設置されているが、利用者はほとんど同じであるため新たな開拓とはなっていない。
効率性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	□あがっている ■どちらかといえばあがっている □あがっていない
	説明	わらびもぎとり園を通じて加美町の地場産品をPRしたことで、関連施設(葉菜施設群)への利用者・売上等増加の相乗効果に貢献し当施設が担う役割はある程度実現できたと思われる。
一次評価	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	□大いにある □多少ある □向上の余地なし ■すでに成果は十分
	説明	わらびもぎとり園を通じて加美町の地場産品をPRしたことで、関連施設(葉菜施設群)への利用者・売上等増加の相乗効果に貢献し当施設が担う役割はある程度実現できたと思われる。
一次評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	□再編できる □類似事業あるが再編はできない ■類似の事業はない
	説明	類似の事業はない。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	□できる □できない ■その他
	説明	運営業務を振興公社に委託することで、大きなコスト削減が図られているが、もぎとり園自体の運営も含めて今後の検討課題となる。
一次評価	施設の方向性	□存続(□直営 □指定管理者 □一部業務委託) □廃止 □統合 □その他( )
	改善の方向性	□目的の再設定 □成果の向上 □コストの削減 □その他( )
一次評価	説明	山菜の里づくりの推進及び葉菜観光施設群と一体となった資源活用による交流人口の増加等の相乗効果に貢献し、当施設が担う役割はある程度実現できたと思われる。山菜の里づくりの方向性と併せ施設管理を含めた運営の検討を行う必要がある。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	西町駐車場管理事業		施設設置年度	432101 昭和47年度
総合計画での 位置づけ	IV 魅力あふれる・豊かでにぎわいあるまち	事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	3 商工業の振興		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
	(4) 中心市街地活性化整備事業の推進		ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
予算科目	1款 駐車場費 1項 駐車場管理費 1目 駐車場管理費		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字西町79番地の1	面積	延床	m <sup>2</sup>	敷地	1,366 m <sup>2</sup>
構造および 施設内容	着工(S47.4.1)、竣工(S47.8.1)、供用開始(S47.8.4)、 駐車場(50台)、公衆便所等 コインゲートによる無人管理、料金100円/回					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )		設置条例等	加美町営駐車場条例		

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

商店街にぎわいづくり委員会設立に伴い、商店街の活性化に向けた取り組みが徐々に進みつつある。そのような中で、今後、駐車場の果たす役割は期待されている。また、公衆トイレ利用者のマナー向上のための対策が求められている。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 272	需用費 203	需用費 300
	役務費 56	役務費 57	役務費 62
	委託料 922	委託料 698	委託料 720
職員人件費 ※ B	0.3人 1,710	0.3人 1,710	0.3人 1,710
事業費合計 A+B	2,969	2,668	2,792
うち一般財源	2,969	2,668	2,792

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
適正な施設維持管理を実施(割増駐車券の販売、無料開放、除雪)	駐車場利用(使用料)の増加で商店街利用に繋げる				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
駐車場利用台数	使用料収入額				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
10,316	9,386	11,000	997,100	986,800	1,100,000

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	加美町営駐車場条例に則り、適正に管理執行されている。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	中心市街地の各商店のほとんどは来客用の駐車スペースがない状況にある。このような商店を訪れる地域住民が車を駐車するのに、町営駐車場は大きな役割を果たしており貢献している。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
説明	説明	商店街にぎわいづくり委員会の更なる活動で、魅力ある商店街に車で来店するお客さんが増加し、駐車場を利用していただければ成果が向上する可能性がある。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
説明	説明	近隣の市では、民間業者が経営を実施している。現在の低料金で、より多くの商店街を利用してもらおうという目的であれば、民間委託は難しい。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
説明	説明	コインゲートの保守、警備、公衆トイレ等の清掃など事業委託している。指定管理委託をした場合、コストは増加する。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )	
説明	商店街などの組合で指定管理者制度による管理が理想。しかし、使用料の増加に伴い、利用客が減っては商店街から遠ざかる可能性もあるため、運営内容など慎重に検討が必要である。	

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	南町駐車場管理事業	事業番号	432101
総合計画での 位置づけ	IV 魅力あふれる・豊かでにぎわいあるまち 3 商工業の振興 (4) 中心市街地活性化整備事業の推進	施設設置年度	平成5年度
		事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	1款 駐車場費 1項 駐車場管理費 1目 駐車場管理費	ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字南町140番地	面積	延床	m <sup>2</sup>	敷地	883 m <sup>2</sup>
構造および 施設内容	着工(H5.2.22)、竣工(H5.3.25)、供用開始(H5.5.13)、駐車場(30台)、公衆便所等 コインゲートによる無人管理、料金100円/回					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )		設置条例等	加美町営駐車場条例		

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

商店街にぎわいづくり委員会設立に伴い、商店街の活性化に向けた取り組みが徐々に進みつつある。そのような中で、今後、駐車場の果たす役割は期待されている。また、公衆トイレ利用者のマナー向上のための対策が求められている。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 343	需用費 255	需用費 301
	役務費 58	役務費 58	役務費 63
	委託料 942	委託料 739	委託料 761
職員人件費 ※ B	0.3人 1,710	0.3人 1,710	0.3人 1,710
事業費合計 A+B	3,044	2,762	2,835
うち一般財源	3,044	2,762	2,835

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか		
適正な施設維持管理を実施(割増駐車券の販売、無料開放、除雪)	駐車場利用(使用料)の増加で商店街利用に繋げる		
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)		
駐車場利用台数	使用料収入額		
平成29年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
6,377	459,170	560,970	500,000
平成30年度実績	6,125	6,400	

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	加美町営駐車場条例に則り、適正に管理執行されている。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	中心市街地の各商店のほとんどは来客用の駐車スペースがない状況にある。このような商店を訪れる地域住民が車を駐車するのに、町営駐車場は大きな役割を果たしており貢献している。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	説明	商店街にぎわいづくり委員会の更なる活動で、魅力ある商店街に車で来店するお客さんが増加し、駐車場を利用していただければ成果の向上とまではいかないにしても維持できる可能性の余地は残っている。
一次 評価	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
	説明	商店街にぎわいづくり委員会の更なる活動で、魅力ある商店街に車で来店するお客さんが増加し、駐車場を利用していただければ成果の向上とまではいかないにしても維持できる可能性の余地は残っている。
施設 改善 評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	近隣の市では、民間業者が経営を実施している。現在の低料金で、より多くの商店街を利用してもらおうという目的であれば、民間委託は難しい。
施設 改善 評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	コインゲートの保守、警備、公衆トイレ等の清掃など事業委託している。施設管理委託まですればコストは増加する。
施設 改善 評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
説明	商店街などの組合で指定管理者制度による管理が理想。しかし、使用料の増加に伴い、利用客が減っては商店街から遠ざかる可能性もあるため、運営内容など慎重に検討が必要である。	

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	宮崎公民館管理事業		施設設置年度	平成20年度
総合計画での 位置づけ	第5節 だれもが学ぶ幸せを感じられるまち 5 社会教育の充実 (1) 公民館機能の充実		事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
			ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
予算科目	10款 教育費 5項 社会教育費 2目 公民館費		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町宮崎字屋敷七番45番地1	面積	延床 980.00㎡ 敷地 1,042.00㎡
構造および 施設内容	木造平屋造 事務室(76㎡)、ホール(258.63㎡)、会議室(84.00㎡)、創作研修室(186㎡)、図書室(178㎡)、その他(197.38㎡) 収容人数504人		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町宮崎生涯学習センター条例・加美町公民館条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

施設の利用者数については横倍状況であるが、講座等への参加については、宮崎地区以外からの参加も多く受講希望が多い。今後も時代の変化に合わせた事業を開催することにより公民館機能の充実を図っていくことが望ましい。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	31年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費1,187	需用費1,143	需用費1,190
	委託料1,545	委託料1,545	委託料1,712
	使用料ほか448	使用料ほか502	使用料ほか402
	備品購入費867	備品購入費324	備品購入費20
職員人件費 ※ B	0.8人 4,560	0.8人 4,560	0.8人 4,560
事業費合計 A+B	8,607	8,074	7,884
うち一般財源	8,607	8,074	7,884

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
申請に基づき貸館業務を行い、使用料を徴収している。来館者の安全・快適な利用のため、施設の修繕等を行っている。	地域住民のコミュニティ活動の拠点として利用者の拡大を図る。				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
会議室・創作研修室利用件数	会議室・創作研修室等利用率(目標50%)				
29年度実績	30年度実績	30年度目標	29年度実績	30年度実績	31年度目標
471	467	534	44.47%	43.72%	50.00%

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	社会教育法、並びに加美町公民館条例に則り、行われる事務事業として適切に執行されている。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	社会教育の活動の場として、また、地域住民の交流の拠点として果たす役割は非常に大きい。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
効率性 評価	説明	町民の高齢化率に比例し、利用者の高齢化から使用回数・人数ともにやや減少傾向にある。貸館業務だけでなく、公民館講座等のソフト面での改善を進め、比較的利用者の少ない若・青年層の利用拡大を図ることで、一層の成果向上を目指す。向上の余地については、どの程度の開拓が見込めるか未知数のため、多少あるとした。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
一次 評価	説明	町内にはほかの公民館施設が点在するが、地域コミュニティの拠点として考えた場合、交通の利便性の問題から、統合を含めた再編成は考えられない。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
一次 評価	説明	賀美石・旭の両地区館が指定管理制度に移行しており、それらを統括する中央館として当施設の制度移行は現状考えられない。また、施設利用に関しては既に受益者負担を『使用料』として徴しており、額についても適切との判断から、抜本的な見直し案はない。現在の方針で一層の経費削減に努めたい。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	・公民館が主体となって行う事業・講座を一層魅力的なものとし、それらをきっかけに利用者の拡大を図る。 ・経費は維持縮小に努め、事業効果を高める。



R1 事務事業評価シート

施設管理運営

担当者(所属・職・氏名)
小野田図書館 主幹兼管理係長兼業務係長兼司書 中川雅俊

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	小野田図書館管理運営事業		施設設置年度	平成16年度
総合計画での位置づけ	第5節 だれもが楽しく学べるまち 5.社会教育の充実 (3)図書館機能の拡充	事業分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	一般会計 10款 教育費 5項 社会教育費 4目 社会教育施設費	ソフト/ハード	財源	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町字中原南105番地	面積	延床 1051㎡	敷地	㎡
構造および施設内容	鉄筋コンクリート造(1階) ・開架フロアー 792.68㎡ ・開架書架 76.88㎡ ・作業室 118.98㎡ ・倉庫 52.65㎡ ・ブックポスト 7.17㎡ ・子ども用トイレ3.07㎡				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	図書館法・地方自治法・加美町図書館条例		

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

少子高齢化に伴い人口減少が進んでいる今日、若者の流失による人口減少に歯止めをかけることを目的として小野田図書館が開館した。開館から15年が経ち町民にも小野田図書館の役割が浸透し親子での利用が多くみられている。また、平成25年度より図書資料の貸出を5冊から10冊へ増冊を行い、平成26年度より大崎定住自立圏相互貸出を開始し大崎圏域の多くの利用者へサービスの提供を行っている。しかし、図書購入費の不足により教科書に掲載されている図書や白書・事典等のレファレンスに適した図書の購入ができない現状にある。個人利用者や町内公共施設等から要求のある資料は県内外の図書館から借用して提供している。図書館で幅広い蔵書構成に取り組みことで利用者数や貸出数の更なる増加が見込める。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費			
A	非常勤職員報酬 6,861	非常勤職員報酬 7,412	非常勤職員報酬 7,781
	図書資料購入費 3,013	図書資料購入費 3,559	図書資料購入費 3,000
	図書用消耗品ほか 3,219	図書用消耗品ほか 3,058	図書用消耗品ほか 3,158
職員人件費 ※ B	11,400	11,400	11,400
事業費合計 A+B	24,493	25,429	25,339
うち一般財源	24,187	24,923	25,333

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
・資料の収集と提供(2館・1室で連携、相互貸借等の利用) ・利用促進事業(図書館便り、おはなし会、職場体験受入、図書館祭、図書館講座) ・図書資料の増冊貸出(平成25年度より5冊から10冊へ) ・大崎定住自立圏相互貸出(平成26年度より大崎圏域利用者へサービスの提供開始) ・学校図書館整備事業(平成28年度より学校図書館への支援開始)	子どもからお年寄りまで、町民のみなさんや大崎圏域にお住まいの方々に図書館を利用してもらい、本に親しんでもらう。				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
・資料購入数(一般書・児童書・視聴覚資料)	・図書貸出点数 (当館での蔵書すべての貸出点数÷年度末の加美町人口)				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
2,065点	2,072点	2,000点	87,879点(1人/3.71点)	82,843点(1人/3.56点)	1人/3.70点

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	絵本から専門書まで町民が知りたいと思う情報は図書館で手に入る。図書館は誰でも自由に学べる心の宝庫で心の豊かさを提供できる施設である。小さい頃から本に触れ合う機会が多い子ども達は国語力が向上し成績も優秀な傾向にある。加美町の将来を担う子ども達に良い本と出逢えるきっかけを作るためにも町が実施すべき事業である。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	加美町総合計画の中で図書館の位置づけは、社会教育の充実の中に含まれている。また、学校教育の充実でも社会教育施設(図書館)、専門職員(図書館司書)との連携強化及び学校図書等の各種教材の充実など図書館の役割は多岐にわたっている。図書館には様々な資料があり絵本を活用することで家庭教育の充実が繋がり、学校図書館を支援することで学校教育の充実が繋がる。その他、郷土資料や行政資料の収集も行っており図書館を最大限に活用すれば施策への貢献度は大きいものになる。
効率性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	説明	人口減少が進行しているが、魅力ある絵本の提供やおはなし会、学校図書館支援等の児童サービスを行い、子ども達が家族を誘って図書館を利用することにより成果の向上が見込める。また、増冊貸出や大崎自立圏相互貸出など利用者サービスを拡大したことにより成果の向上が今後見込める。計画どおりに成果をあげるには、正規職員の育成に力を入れる必要がある。
一次評価	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
	説明	平成28年度より新たに学校図書館整理事業に取り組んでいる。図書購入費について、学校支援を行える状況にないので宮城県図書館の学校支援セットを活用している。今後、学校支援を継続していくためには図書購入費の増額が必要になる。また、学校図書館との連携を強化し整備を進めるには有資格者職員(司書)の増員が必要である。
改善の方向性	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	町内には他に中新田図書館・宮崎公民館図書室があるが、地域により求める資料の傾向が異なっている。学校図書館への支援及び地域の課題解決に迅速に答えるには、各地区に必要な施設である。また、中新田図書館ではブックスタート事業、小野田図書館では学校図書館整備事業、宮崎公民館図書室では地域が求める資料収集を行っている。様々な課題を分担して解決できるよう努めているので再編は考えられない。
施設・改善の方向性	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	平成28年度より新たに学校図書館整理事業に取り組んでいる。図書購入費について、学校支援を行える状況にないので宮城県図書館の学校支援セットを活用している。今後、学校支援を継続していくためには図書購入費の増額が必要になる。また、学校図書館との連携を強化し整備を進めるには有資格者職員(司書)の増員が必要である。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	図書館は国民の知る権利を保障するため、図書館法第十七条で公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。という条文がある。これが図書館の無料の原則と言われている。指定管理者制度を導入した図書館では、官製ワーキングプアが問題になっている。利益を得ることができないので人件費を抑制している。安い賃金の図書館には実務経験の豊富な司書資格者が集まらず、身分保障も安定していないので図書館のサービス低下や海外の風俗店を紹介した不適切な本の購入するなど資料選定にも支障をきたしている。図書館司書は地域に根差した自治体の職員が地域に合った求められる資料を選定する必要がある指定管理者制度はなじまない。また、平成26年6月に改正学校図書館法が国会で成立し、学校司書の配置が努力義務として定められた。学校図書館との連携を取り、子どもの学力向上を担うためにも図書館を直営で運営する必要がある。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	中新田図書館管理事業		施設設置年度	平成5年度(平成6年2月竣工)
総合計画での 位置づけ	第5節 だれもが楽しく学べるまち	事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
	5. 社会教育の充実 (3)図書館機能の拡充		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	10款 教育費 5項 社会教育 4目 社会教育施設費		ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード
			財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字大門176番地	面積	延床 2,878㎡ 敷地 9,780㎡
構造および 施設内容	鉄筋コンクリート造平屋建一部2階 事務室、作業室、視聴覚ホール、展示ホール、集会室、創作室、喫茶室		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	中新田図書館条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方々から必要とされている。平成26年4月から大崎定住自立圏相互利用が開始され入館者数、貸出冊数ともに増加している。利用者からは常に新しい情報を求められており、今後も利用者サービスや資料提供を充実させていきたい。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費	非常勤職員報酬 8,495	非常勤職員報酬 9,131	非常勤職員報酬 9,602
A	図書資料購入費 7,000	図書資料購入費 6,743	図書資料購入費 7,000
	維持管理委託料ほか 22,918	維持管理委託料ほか 18,040	維持管理委託料ほか 24,045
職員人件費 ※ B	4人 22,800	4人 22,800	4人 22,800
事業費合計 A+B	61,213	56,714	63,447
うち一般財源	60,420	55,640	63,396

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
・資料の収集と提供(2館1室で連携、相互貸借等の利用) ・利用促進事業(図書館だより、移動図書館車運行、学級文庫支援、職場体験受け入れ、図書館まつり、映画会、文学講座等) ・大崎定住自立圏相互貸出(平成26年度から大崎健康利用者へのサービス開始) ・貸出冊数を5冊から10冊に増刷(平成25年4月から)	子どもからお年寄りまで町民の皆さんや大崎圏域の方々にも利用していただき、生活に必要な情報や知識を習得する。また本に触れ親しんでもらい読書により趣味や生活が潤い、人との交流が生まれる場になる。				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
図書館資料購入数(図書、視聴覚資料)	図書館貸出冊数(図書のみ雑誌・視聴覚資料は除く) (貸出での一般書・児童書の貸出冊数÷年度末の加美町人口)				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
4,237点	3,930点	4,000点	128,090冊(1人/5.4冊)	125,772冊(1人/5.4冊)	(1人/5.5冊)

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	いつでも、どこでも、だれでも、自由に学べる学習環境の整備充実は必要である。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	だれもが生涯にわたり楽しく学べる環境づくりが、生涯学習活動の支援にもつながり、果たす役割は大きい。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
説明	説明	人口減少に伴い貸出冊数も減少しているが、魅力ある蔵書構成や、利用者サービス、学校支援などの充実を図ることによって成果の向上が期待できる。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
説明	説明	町内には当館の他に小野田図書館・宮崎公民館図書室があるが、地域により利用者が求める資料の傾向が異なっている。地域の課題解決に迅速にこたえるには、各地区に必要な施設である。また、各施設が連携し地域が求める資料収集を行っているので再編は考えられない。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
説明	説明	図書館資料と経験豊富な図書館員によるレファレンスサービスは図書館サービスに欠かせないものである。これ以上の削減はサービスの低下をまねくと思われる。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	・図書館資料の充実を図り、職員も研修を重ね利用者サービスの向上に努めることが利用者の拡大につながる。 ・利用者に満足していただくために、利用者のニーズを把握し、蔵書構成や選書、イベントなどの内容を見直ししていくとともに、図書館の良さを多くの町民に理解してもらうことも必要である。

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	中新田文化会館管理運営事業	施設設置年度	昭和55年度
総合計画での位置づけ	第5節 だれもが楽しく学べるまち 7. 芸術・文化活動の支援と創造 (1)文化施設の整備・運営	事業の対称	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	一般会計 10款教育費 5項社会教育費 4目社会教育施設費	ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町字一本杉101番地	面積	延床 2,438㎡ 敷地 5,619㎡
構造および施設内容	鉄筋コンクリート造4層建(一部5層) ホール(客席数684名)(舞台 間口14.80m 奥行9.00m)、リハーサル室(3室)兼控室(6室)、特別室		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町中新田文化会館条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

町民のホールに対するオーナーシップ(当事者性)を回復することが重要である。いかに来館を促すための心理的ハードルを下げられるかが直近の課題。チケット価格やアクセスだけでは解決しがたい課題に取り組む。
--

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 9,999	需用費 8,950	需用費 7,763
	委託料 11,894	委託料 12,012	委託料 10,141
	その他 7,500	その他 4,157	その他 4,319
	29,393	25,119	22,223
職員人件費 ※ B	0.75×4人 17,100	0.75×4人 17,100	0.75×4人 17,100
事業費合計 A+B	46,493	42,219	39,323
うち一般財源	46,493	42,219	39,323

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
申請に基づき貸館事業を行い、使用料を徴収。来館者の安全快適な利用のため、施設の修繕等を行った。	芸術・文化活動の拠点として利用者の拡大を図る。				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
施設利用日数(利用可能日数)	施設利用率、総利用者数				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
259日(295日中)	278日(297日中)	282日(297日中)	87.80% 36,230人	93.60% 37,074人	95.0% 37,500人

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	加美町中新田文化会館条例により事業として適切に執行している。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	文化・芸術活動を行う拠点となっている。
効率性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	やくらい文化センターがあるが、取り扱うジャンルや地域に差があり、再編することはできない。
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	成果を出すために機材等設備の更新が必要であり、それを取り扱う人材も必要である。コスト削減を目的に指定管理者制度に移行したホールは、運営に苦慮しているため、十分な検討が必要である。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	優れたホールの特徴を十分に生かし、魅力ある施設としてより多く利用してもらう。舞台技術については、外部委託も取り入れ安定したものとする必要がある。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	小野田文化施設管理運営		施設設置年度	平成16年度
総合計画での 位置づけ	V だれもが楽しくまなべるまち 7.芸術・文化活動の支援と創造 (1)文化施設の整備、運営	事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
予算科目	10款 教育費 5項 社会教育費 4目 社会教育施設費		ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
			財 源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字中原南105番地	面積	延床 6,072.04㎡ 敷地 21,804.28㎡
構造および 施設内容	鉄骨鉄筋コンクリート造(2階) 化会館、公民館、図書館		文
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町小野田文化会館条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

芸術文化活動は、開催・出演する側、観覧・鑑賞する側、双方にとって生活に潤いを与える重要な活動であり教育であると考えられ住民参加型の芸術・文化発祥拠点として、多くの地元団体が利用する施設となっている。また、住民意識の変化としてはホール利用における理解が浸透して来ているのではないかと感じられる。例えば実際に利用しない時間帯でも準備の関係上ホールを押える必要があるため、押えた日も料金が発生することなどの理解があったことで意識の変化が見られた。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 17,347	需用費 16,845	需用費 16,730
	委託料 21,657	委託料 17,580	委託料 21,958
	他 4,156	他 4,378	他 2,945
職員人件費 ※ B	1人 5,700	1人 5,700	1人 5,700
事業費合計 A+B	48,860	44,503	47,333
うち一般財源	47,456	43,099	40,229

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか			■この事業によって対象をどうしたいのか		
施設の維持管理、施設利用者に対する助言、アドバイス、住民レベルでの利用に対する舞台業務サービス提供			芸術文化活動が高まり、活動発表の機会や創造性の向上心を生み出す。		
■何をどれだけ行ったか(活動指標)			■達成度を表す指標(成果指標)		
ホール等使用日数			ホール利用者数		
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
257	249	260	17,660人	17,270人	18,000人

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	町以外に実施する組織はないと思われる。
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	保育所から高校まで、又地元各種団体の催事を中心に地域住民の芸術文化活動の場としての貢献度は大きい。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次 評価	説明	職員の音響・照明・舞台技術のスキルアップを図れば、より質の高いサービスを提供できるが、人事異動によりまだ未熟な舞台技術者に現場で指導できる職員が不足しているため、外部の技術者を頼らざる負えない現実がある。経験者を指導者として現場に配置することが適切と考える。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
一次 評価	説明	中新田文化会館とは密に連絡を取り合っており、当館は小中学校や各種団体への貸館中心に切り替えている。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
一次 評価	説明	自主事業についての削減は可能だが、年々施設の修繕費用が増加傾向に有り、特に雨漏りによる屋根の修繕が深刻となっている。
	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
一次 評価	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	町に文化会館が二つあることは他ではあまりないことである。また小野田文化会館は公民館、図書館との複合施設であり、魅力的な施設に나ると思われるがホール音響等技術面で質の高いレベル維持はなかなか難しく、外部に業務委託等も検討せざる得ない状況である。



担当者(所属・職・氏名)
宗左近記念縄文芸術館 副館長兼学芸員 本田泰貴

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	宗左近記念縄文芸術館管理事業	事業番号	
総合計画での位置づけ	V だれもが学ぶ幸せを感じられるまち 8.文化財・伝統文化の保護・継承 (1)既存展示収蔵施設の統廃合を含めた総合的博物館等の整備	施設設置年度	昭和63年度
		事業の対 象	■住民 □職員(内部管理) ■その他
		独 自/義 務	■独自 □義務的(法定) ■その他
予算科目	10款 教育費 5項 社会教育費 4目 社会教育施設費	ソフト/ハード	■ソフト ■ハード
		財 源	■町単独 □国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町字南町186-1	面積	延床420㎡ 敷地560㎡
構造および施設内容	木造(一部2階建)、駐車場6台 事務室(16㎡)、展示室(第1から第2合計286㎡)、収蔵庫(9㎡現在水侵入により使用不可)、		
運営方法	■直営 □指定管理( )	設置条例等	加美町宗左近記念縄文芸術館条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

設置目的である「縄文土器等の保存・管理」は、空調設備がなく、また木造のため火災の危険があります。「観覧」は常設展を行いますが入館者は減少しています。平成18年の生涯学習計画アンケートによる住民意見要望には、情報の提供、施設・設備・魅力の充実、利用時間帯の延長、サークル・講座教室開催、町民意見の活用等があげられています。また外部評価により、町内博物館の統廃合が提言されています。令和元年12月をもって閉館し、中新田図書館コーナー展示・収蔵に移行する予定です。

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R01年度(当初予算)
事務事業に要した経費	報酬費・賃金2626	報酬費・賃金2796	報酬費・賃金他1875
	需用費382	需用費286	需用費876
	役員費164	役員費215	役員費264
	委託料409	委託料407	委託料1444
	使用料・工事費・備品費他70	使用料・工事費・備品費他62	使用料・工事費・備品費他262
職員人件費 ※ B	0.333人=1900	0.5人=2850	0.5人=2850
事業費合計 A+B	5,551	6,616	7,571
うち一般財源	5,551	6,616	6,271

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
縄文土器等の保存・管理・修復、展示。展示環境の管理。来館者案内・解説。館運営事務・庶務。館施設・環境の維持管理、整備清掃。	宗縄文土器等コレクションを保存・管理し後世に伝える。また、これを展示公開するとともに、研究の助長と郷土文化振興に資する。				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
収蔵品保存管理数 運営日数(開館日数) 来館グループ数	収蔵品状態確認数(目標100%) 展示環境管理日数(目標50%) 来館グループへの展示解説等数(目標5%)				
H29年度	H30年度	R01年度	H29年度実績	H30年度実績	R01年度目標
291件 303日(303日) 190グループ	291件 304日(304日) 302グループ	291件 179日(140日)予定 グループ	45.6% 45.5% 4.2%	50% 48.3% 2.0%	100% 50% 5%

6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	□法定受託事業である ■妥当である □妥当性が低い
	説明	町関係芸術文化財等を後世に伝承し、観覧や文化活動等に供することは、後世及び現世町民に対して大切と思われま。
	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	□大きい □ふつう □小さい ■総合計画等の位置づけなし
	説明	芸術文化財を保存管理し良好な状態に保つこと、また生涯学習・社会教育の場として、果たす役割はあると思われま。
有効性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	□あがっている □どちらかといえばあがっている ■あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	□大いにある ■多少ある □向上の余地なし □すでに成果は十分
説明	設置目的に対して、基本目標も充分に行えていない状態です。施設の安全、設備の完備、専門員の増があれば成果向上の余地はあります。	
効率性 評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	■再編できる ■類似事業あるが再編はできない ■類似の事業はない
	説明	土器保存(処理・修復等)、作品管理(収蔵等)は、埋蔵文化財に類似事業がありますが、入手経緯や評価、修復方法等の違いから再編統合は難しいかもしれません。コレクションの展示は経験専門員が望ましく、他施設・資料との統合等は寄贈時の経緯があり、検討が必要と思われま。
	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	□できる ■できない □その他
説明	博物館学芸以外の部分に関して、施設の管理運営を民間委託することは出来ると思われまが、すでに設立時期に比して大きく予算・人員を削減しており、これ以上のコスト削減は期待できないと思われま。	
一次 評価	施設の方向性	■存続 ( ■直営 □指定管理者 ■一部業務委託 ) □廃止 ■統合 ■その他(整理)
	改善の方向性	■目的の再設定 □成果の向上 ■コストの削減 □その他( )
説明	作品の保存管理処理や展覧事業には、経験のある美術館学芸員が必要であり、直営が望ましいと思われま。施設管理運営は、委託も可能と思われま。設置目的を限定し、事業規模を小さくすることが考えられま。そのうえで施設整理統合によるコストの削減ができるかと思われま。	

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	芹沢長介記念東北陶磁文化館管理事業	事業番号	
総合計画での 位置づけ	V だれもが学ぶ幸せを感じられるまち 8.文化財・伝統文化の保護・継承 (1)既存展示収蔵施設の統廃合を含めた総合的博物館等の整備	施設設置年度	昭和62年度
		事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input checked="" type="checkbox"/> その他
		独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input checked="" type="checkbox"/> その他
予算科目	10款 教育費 5項 社会教育費 4目 社会教育施設費	ソフト/ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字町裏64	面積	延床1032㎡ 敷地1035㎡
構造および 施設内容	鉄骨プレハブ構造(2階)、駐車場6台 事務室(60㎡)、展示室(第1から第3合計475㎡)、収蔵庫(156㎡)、作業室(32㎡)、		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町芹沢長介記念東北陶磁文化館条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

設立時期より、予算・人員とも大きく減となり、施設状態も悪化しています。設置目的である「陶磁器等の保存・管理」は、近年の環境変化もあり悪化しています。「観覧」は常設展を行うが入館者は減少しており、また展示安全確保等が難しい状態です。「研究・文化振興」に関しては研究活動が行われていません。平成18年の生涯学習計画アンケートによる住民意見要望には、事業内容や情報の提供、施設・設備の充実、利用時間帯の延長、芸術文化サークル・講座教室開催、町民の意見提案の活用、施設統合、案内充実、魅力的に、等があげられています。また外部評価により、町内博物館の統廃合が提言されています。収蔵品を町由品来に限定した、整理統合事業が予定されています。

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	H29年度(予算)	H30年度(予算)	R01年度(当初予算)
事務事業に要した経費	報酬費・報償費2724	報酬費・報償費2804	報酬費・報償費2826
A	需用費1988	需用費1786	需用費1976
	役務費343	役務費286	役務費369
	委託料1387	委託料1385	委託料1516
	使用料・工事費・備品費他253	使用料・工事費・備品費他350	使用料・工事費・備品費他159
職員人件費 ※ B	0.333人=1900	0.5人=2850	0.5人=2850
事業費合計 A+B	8,595	9,461	9,696
うち一般財源	8,595	9,461	9,696

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか	■この事業によって対象をどうしたいのか				
陶磁器等の保存管理、処理修復、展示。作品展示環境の維持管理。来館者案内、解説。館運営庶務事務。施設環境の維持管理、整備清掃。	芹沢東北近世陶磁コレクションを保存・管理し後世に伝える。また、これを展示公開するとともに、研究の助長と郷土文化振興に資する。				
■何をどれだけ行ったか(活動指標)	■達成度を表す指標(成果指標)				
収蔵品保存管理数 運営日数(開館日数) 来館グループ数	収蔵品状態確認数(目標40%) 展示環境管理日数(目標99%) 来館グループへの展示解説等数(目標12%)				
H29年度	H30年度	R01年度	H29年度実績	H30年度実績	R01年度目標
1620点 303日(260日) 200グループ	1620点 304日(281日) 214グループ	1620点 304日(303日) グループ	39% 99% 9.8%	39% 99% 9.4%	40% 99% 12%

## 6 事業の評価

的 妥 当 性 評 価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	町由来文化財等を後世に伝承し、展覧や文化活動等に供することは、後世及び現世町民に対して必要な事業と考えます。
有 効 性 評 価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	文化財を保存管理し良好な状態に保つこと、また生涯学習・社会教育の場として、果たす役割があると考えます。
効 率 性 評 価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一 次 評 価	説明	設置目的に対して、基本目標も十分に行えているとは言えない状態です。施設の安全、設備の完備、専門員の増があれば成果向上の余地はあります。
	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 再編できる <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	近世陶磁保存(保存処理・修復等)は、類似事業はなく再編は出来ません。作品管理(収蔵等)は、専門員により施設整理統合等時に再編することが出来ると考えます。コレクションの美術展示は経験専門員しか出来ず、他施設・資料との統合等は寄贈時の条件があり、難しいと思われます。運営(施設維持管理、受付案内、庶務事務等)は施設統合等により再編出来ると考えます。
一 次 評 価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減はできませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	博物館学芸以外の部分に関して、施設の管理運営を民間委託することは出来ると考えますが、すでに設立時期に比して大きく予算・人員を削減しており、現館では、これ以上のコスト削減はできないと思います。
一 次 評 価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他(整理)
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一 次 評 価	説明	作品の保存管理処理や展覧事業には、経験のある美術館学芸員が必要であり、直営が望ましいと考えます。施設管理運営は、委託も可能と考えます。町由来品に限定するなど館の設置目的を限定し、収蔵品の縮小、寄贈条件の変更、事業目標の再編など、事業規模を小さくすることが考えられます。そのうえで施設整理統合によるコストの削減ができるかと考えます。

R1 事務事業評価シート

施設管理運営

担当者(所属・職・氏名)
ふるさと陶芸館 参事兼副館長兼学芸員 畠山静子

1 事務事業の基本情報

事務事業名(施設名)	ふるさと陶芸館管理運営事業		
総合計画での位置づけ	第五節だれもが学ぶ幸せを感じられるまち 8.文化財・伝統文化の保護・継承 (1)既存展示収蔵施設の統廃合を含めた総合的博物館等の整備	施設設置年度	平成2年度
予算科目	一般会計 10款 教育費 5項 社会教育費 4目 社会教育施設費	事業分類	事業の対象 <input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他 独自/義務 <input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他 ソフト/ハード <input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

1-2 施設情報

所在地	加美町宮崎字切込3番	面積	延床 999㎡ 敷地 50,000㎡
構造および施設内容	木造2階建て 一部瓦葺 常設展示室424㎡・企画展示室83㎡・現代作家室33㎡・研修室106㎡		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町ふるさと陶芸館条例

2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

加美町博物館等施設の整理(統廃合・再編)事業に着手。すでに中新田地区墨雪墨絵美術館の移設開室が完了し、縄文美術館の中新田図書館内コーナー開設に向けて準備が進んでいる。東北陶磁文化館についても閉館(寄贈作品の返却等)の方向で進行中で、切込焼記念館の施設改修を経て統合・再編が計画されている。その詳細等は未だ検討調整中であるが、令和4年度頃を目途に新館としてオープンする予定。
--

3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	29年度実績	30年度実績	元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	維持管理事業 需用費・委託料等11,263	維持管理事業 需用費・委託料等11,287	維持管理事業 需用費・委託料等 8,652
	展示事業 報償費・役務費等 895	展示事業 報償費・役務費等 1,197	展示事業 報償費・役務費等 1,862
職員人件費 ※ B	1人5,700	1人5,700	1人5,700
事業費合計 A+B	17,858	18,184	16,214
うち一般財源	17,679	18,021	16,035

4 活動指標(アウトプット)

5 成果指標(アウトカム)

■町がどのようなことを行ったか 都市との交流・地域文化の発展を目的に、郷土の文化遺産切込焼の紹介を主とした展示事業、優品コレクションの受納を行った。切込作品の保全と来館者の安全・快適な利用のため、施設の修繕等を行った。	■この事業によって対象をどうしたいのか 切込焼の存在とその歴史や作品の魅力を知り、かつその価値を認識して保全や有効活用への理解を深めるなど、町民・利用者の文化意識の向上に資する												
■何をどれだけ行ったか(活動指標) 企画展示回数、常設展示公開日数	■達成度を表す指標(成果指標) 観覧者数												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0回、335日</td> <td>0回、335日</td> <td>0回、336日</td> </tr> </tbody> </table>	29年度実績	30年度実績	元年度目標	0回、335日	0回、335日	0回、336日	<table border="1"> <thead> <tr> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,355</td> <td>1,426</td> <td>1,430</td> </tr> </tbody> </table>	29年度実績	30年度実績	元年度目標	1,355	1,426	1,430
29年度実績	30年度実績	元年度目標											
0回、335日	0回、335日	0回、336日											
29年度実績	30年度実績	元年度目標											
1,355	1,426	1,430											

6 事業の評価

目的妥当性評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか？	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	本町の文化遺産であり仙台藩御用窯であった切込焼を紹介し、次世代へと保存継承する事業は、それを生んだ加美町が実施すべき事業として妥当である。
有効性評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	切込焼というやきものを通して、美術工芸分野のみならず、地元加美町の歴史や江戸期仙台藩の文化の一端を学ぶことができる。展示では作品のもつ魅力を最大限に生かし、相手に応じたわかりやすい展示解説等を行って、だれもが楽しく学べる町づくりに貢献している。
効率性評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか？	<input type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない
	説明	施設の老朽化、専門学芸員の後継者問題等もあって現状のままでは今後の成果は見込めない。上記2記載の通り、整理統廃合事業計画を進め、超高齢社会・人口減少といった社会を見据えた、有効な活用方法を目指すべきである。
一次評価	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか？	<input type="checkbox"/> 大いにある <input type="checkbox"/> 多少ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
	説明	施設の老朽化、専門学芸員の後継者問題等もあって現状のままでは今後の成果は見込めない。上記2記載の通り、整理統廃合事業計画を進め、超高齢社会・人口減少といった社会を見据えた、有効な活用方法を目指すべきである。
一次評価	(5)類似事業との再編はできませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	上記2記載の通り、東北陶磁文化館収蔵品の移動・収蔵・展示等について検討調整中
一次評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか？	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	統合・再編には施設の改修費が必要で、切込新館分にかかる維持管理は若干増えると思われるが、中新田地区3館の独立施設がなくなるため、町全体としては削減につながると見込まれる。
一次評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上 <input checked="" type="checkbox"/> コストの削減 <input type="checkbox"/> その他( )
一次評価	説明	上記2記載の通り、加美町博物館等施設の整理(統廃合・再編)事業に着手。当館としては、加美町由来の文化遺産切込焼を後世へ遺すための施設改修を行い、超高齢社会・人口減少といった社会現象を見据えた、効率的な事業運営と有効な活用等について見直し・検討が必要であるとする。

## 1 事務事業の基本情報

事務事業名 (施設名)	小野田支所管理事業		施設設置年度	令和46年度
総合計画での 位置づけ	VI-3-(1)	事業 分類	事業の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 <input type="checkbox"/> 職員(内部管理) <input type="checkbox"/> その他
			独自/義務	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 義務的(法定) <input type="checkbox"/> その他
			ソフト/ハード	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード
予算科目	2款 総務費 1項 総務管理費 8目 支所費		財源	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国県等補助

## 1-2 施設情報

所在地	加美町字長檀75番地2	面積	延床 1,919.78㎡ 敷地 9,365.18 ㎡
構造および 施設内容	鉄筋コンクリート造り(3階)1階(672.32㎡)2階(669.94㎡)3階(503.37㎡)ボイラー室(74.15㎡) 加美町小野田支所、加美町農業委員会、議会事務局、議場、JA加美よつば(151㎡)会議室(76㎡)職員控室(76㎡)		
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理( )	設置条例等	加美町支所設置条例

## 2 事務事業を取り巻く環境や住民意識の変化、意見等

- ・庁舎の建設から44年以上が経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。
- ・支所に来庁すればすべての要件が満たされるとおもっている方がいる

## 3 投入指標(インプット)

(※職員人件費は、5,700千円×〇人で算出)

(単位:千円)

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度(予算)
事務事業に要した経費 A	需用費 4,967	需用費 6,180	需用費 5,060
	役務費 769	役務費 844	役務費 762
	委託料 6,435	委託料 6,448	委託料 10,250
	使用料 393	使用料 386	使用料 386
職員人件費 ※ B	2人 11,400	2人 11,400	2人 11,400
事業費合計 A+B	23,964	25,258	27,858
うち一般財源			

## 4 活動指標(アウトプット)

## 5 成果指標(アウトカム)

<input checked="" type="checkbox"/> 町がどのようなことを行ったか	<input checked="" type="checkbox"/> この事業によって対象をどうしたいのか				
業務遂行のために施設設備の保守点検及び修繕を行っている。	既存の庁舎を長期的に有効利用するため				
<input checked="" type="checkbox"/> 何をどれだけ行ったか(活動指標)	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度を表す指標(成果指標)				
施設設備の保守点検回数	施設不具合件数				
平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標
20	20	20	8件	8件	12件

## 6 事業の評価

目的 妥当性 評価	(1)町が実施すべき事業として妥当ですか?	<input type="checkbox"/> 法定受託事業である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い
	説明	三極自立のためには必要です(住民サービス向上につながる)
有効性 評価	(2)上位施策への貢献度は大きいですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 総合計画等の位置づけなし
	説明	現有施設を維持修繕することにより、長期的に有効活用できる。
効率性 評価	(3)計画どおりに成果があがっていますか?	<input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばあがっている <input type="checkbox"/> あがっていない
	(4)成果が向上する余地(可能性)はありますか?	<input type="checkbox"/> 大いにある <input checked="" type="checkbox"/> 多少ある <input type="checkbox"/> 向上の余地なし <input type="checkbox"/> すでに成果は十分
一次 評価	(5)類似事業との再編はできませんか?	<input type="checkbox"/> 再編できる <input type="checkbox"/> 類似事業あるが再編はできない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない
	説明	
一次 評価	(6)現状の成果を落とさずにコスト削減できませんか?	<input type="checkbox"/> できる <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> その他
	説明	施設の老朽化が進行する中で、現状の維持管理費が最低限であり、これ以上のコスト削減は非常に厳しい。
一次 評価	施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 存続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 一部業務委託 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他( )
	改善の方向性	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 成果の向上 <input type="checkbox"/> コストの削減 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民サービスの観点からも支所庁舎を維持していかなければならない。</li> <li>・支所は地区住民にとって身近な行政機関であり、要望や相談への対応、本庁各課との連絡調整がより効果的にできるように支所体制の充実が必要である。</li> </ul>	